

よらねかむ 小合

2023.11.15 84号

発行者 小合地域コミュニティ協議会 (コミュニティセンター内) ☎0250-25-2299 発行人/阿部 繁 編集/編集委員会	地域の人口動態 令和5年9月末現在 世帯数 1,295 世帯 男 1,745 人 女 1,802 人 人口 3,547 人
--	--

児童生徒・学級数推計

○小合東小・小合小／小合中 (市教育委員会からの説明会資料の一部を抜粋)

校名	学年	実数値		推計値												
		令和5年度		6		7		8		9		10		11		
		児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	
小合東	1	12	1	14	1	13	1	9	1	9	1	9	1	9	1	
	2	10	1	12	1	14	1	13	1	9	1	9	1	9	1	
	3	15	1	10	1	12	1	14	1	13	1	9	1	9	1	
	4	8	1	15	1	10	1	12	1	14	1	13	1	9	1	
	5	13	1	8	1	15	1	10	1	12	1	14	1	13	1	
	6	9	1	13	1	8	1	15	1	10	1	12	1	14	1	
	計		67	6	72	6	72	6	73	6	67	6	66	6	63	6
小合小	1	13	1	6	1	6	1	5	1	6	1	5	1	2	1	
	2	15	1	13	1	6	1	6	1	5	1	6	1	5	1	
	3	6	1	15	1	13	1	6	1	6	1	5	1	6	1	
	4	15	1	6	1	15	1	13	1	6	1	6	1	5	1	
	5	15	1	15	1	6	1	15	1	13	1	6	1	6	1	
	6	12	1	15	1	15	1	6	1	15	1	13	1	6	1	
	計		76	6	70	6	61	6	51	5	51	5	41	4	30	3
小合中	1	30	1	21	1	28	1	23	1	21	1	25	1	25	1	
	2	25	1	30	1	21	1	28	1	23	1	21	1	25	1	
	3	21	1	25	1	30	1	21	1	28	1	23	1	21	1	
	計		76	3	76	3	79	3	72	3	72	3	69	3	71	3

- ・小合小学校は令和8年度に2・3年生が複式学級となります。
- ・令和11年度には全学年が複式学級となり、全校で3学級となります。

※ 複式学級とは： 連続する2つの学年の児童数が16人以下となった場合に1つの教室の中で学年ごとに分けて授業を行う。一人の教師が2つの学年を行ったり来たりする。(例)

小合コミ協では、小合地区の学校のあり方を考える検討会を立ち上げます。みんなで子ども達のために一緒に考えましょう！

陶芸体験教室

9月24日

金津焼押味窯の押味修先生をお招きし、恒例の「陶芸体験教室」を開催しました。親子連れの参加者を含め30名の参加がありました。先生の軽妙なトークのおかげもあり、和気あいあいとした雰囲気の中で楽しいひと時を過ごすことができました。
(文化教養部)



未来ビジョン第1回

10月1日

小合地区の5年先、10年先を考える「未来ビジョン」策定に向け約30名の参加をいただき第1回目を開催しました。今回は、中学生3名と小学生(2校から)4名の参加があり、地域に対する思いや、具体的な要望などについて新鮮で率直な意見を出してくれました。力強く立派な発表でした。

ワークショップは第2回第3回と続きます。出された多くのご意見、要望、未来像などについては今後報告し、そして実現に向けて取り組んで参ります。



愛さつ運動
9月28・29日



多くの関係者の皆様に参加していただき、子ども達は元気な声で挨拶をしてくれ、無事に登校することができました。ご協力に感謝します。ありがとうございました。



小合地区敬老会
10月8日



令和元年台風19号で敬老会が中止になって以来、5年振りに晴天の中敬老会を開催することができました。式典は長崎秋葉区長様はじめ多くの来賓の方々よりご祝辞を頂戴し、また今年度の最高齢者(来場者中)である太田サダさん(小戸下組)に阿部会長より記念品が贈られました。

第二部ではコミセン利用者団体の方々によるアトラクションの披露があり、華やかな新舞踊・心に響いた歌謡に感嘆の声と大きな拍手で盛り上がりました。お帰りの際には、「仲間に会えて良かった」「楽しかった」「来年元気でまたねー」との声が聞かれ、開催する側としても誇らしく嬉しい一日となりました。

シリーズ

ふるさと小合のあれこれ

ふるさとカルタ よい



け 心身鍛える
小合地区

以前から小合地区は剣道が盛んなことで知られています。

戦後間もない昭和27年

青少年が心も身体も健やかに育つことを願って、小合柔剣道振興会が作られました。

昭和33年には小合中学校に初めて剣道部が生まれました。

熱心な指導や練習でどんどん力が向上し、昭和42年には、県中学校大会で見事に団体優勝を果たしました。(その前後の年も準優勝)



ほかに昭和46年の県青年大会団体優勝、55年の県選抜剣道選手権大会優勝、60年の県高校総体女子個人優勝等素晴らしい成績ぶりです。

また、卒業後県内外の中学校や高校で指導者として活躍している人もたくさんいます。

ち チューリップ
日本の魁
小合郷



小合郷の辺りは、昔からたびたび水害に見舞われました。そこで、稲作のほか収入を得るために、植木や花作りを中心とした副業が盛んに行われるようになりました。

チューリップは大正7年、出戸の小田喜平太さんが、オランダから球根を購入し作り始めました。チューリップ栽培を産業として行ったのは、新潟県でも最初であり、日本でも珍しいことでした。

大正13年には、オランダから14万球も球根を購入し、チューリップ栽培の基礎ができました。
小合園芸の名は外国まで広まり、小合郷は「東洋のオランダ」と言われるほどになりました。

「ふるさとカルタ」について



紹介したカルタは平成2年度から5年度に小合東小学校の校長を務められ、残念ながら本年6月に逝去された田村光雄氏の制作によるものです。版画は平成4年度の4年生が作成しました。

「私は常に教育は地域ぐるみで進めることが大切だと思っています。また、ふるさとを愛し、誇りを持つ子供を育てることが必要だと思っています。こうした思いからこのカルタを作ってみました。」(原文ママ)

編集委員会として今後も「ふるさとカルタ」を紹介していく予定です。